

研究内容の説明文

| | |
|-----------------------------|--|
| 献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名) | 眼の炎症性疾患の予後予測と新規治療探索のための研究 (ぶどう膜炎をはじめとする眼炎症疾患の眼炎症発作の病態を反映する生物指標の探索) |
| 研究期間（西暦） | 2019年4月～2024年3月 |
| 研究機関名 | 九州大学大学院医学研究院眼科 |
| 研究責任者職氏名 | 教授 園田康平 |

※理解しやすく、平易な文言を使用した課題名

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

眼の中に炎症がおこるぶどう膜炎は失明のリスクの高い難治性疾患で、何らかの体内の炎症反応によって眼に炎症が起こると考えられています。多くの場合治療には副腎皮質ステロイドホルモンや免疫抑制剤の全身投与が行われますが、治療への反応は患者さんによって異なり、炎症を繰り返して予後不良となるケースも少なくありません。本研究では患者さんの血液中の炎症細胞を詳しく調べて、予後不良となる因子を探索し、より良い治療法に改善していくことをを目指しています。

2 使用する献血血液等の種類・情報の項目

献血血液等の種類：全血（規格外）

献血血液等の情報：なし

3 献血血液等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

共同研究機関はありません。

4 研究方法《献血血液等の具体的な使用目的・使用方法含む》

献血血液等のヒト遺伝子解析：行いません。 行います。

《研究方法》

患者さんの血液からリンパ球を分離し、各リンパ球に特異的なタンパクを認識する抗体を使ってリンパ球の種類や分布を調べたり、リンパ球の活性化を調べます。献血でいただいた血液からリンパ球を回収し、予備実験や患者さんの血液を使った実験間のコントロールとして用います。

5 献血血液等の使用への同意の撤回について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 31J0003

本研究に関する問い合わせ先

| | |
|------|---------------------------------|
| 所属 | 九州大学病院眼科 |
| 担当者 | 長谷川 英一 |
| 電話 | 092-642-5648 |
| Mail | kyubudou@eye.med.kyushu-u.ac.jp |

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。